

平成25年度 第184回教育研究審議会議事要録

- 日時** 平成25年5月28日(火) 13:30~15:00
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、井村事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、山本法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長
- 配布資料**
- 1-1 欠員補充申請書(文学部)
 - 1-2 欠員補充申請書(法学部)
 - 1-3 欠員補充申請書(国際環境工学部)
 - 1-4 欠員補充申請書(基盤教育センター)
 - 2-1 社会システム研究科の教育改善について
 - 2-2 北九州市立大学大学院学則の改正について
 - 3 北九州市立大学大学院 社会システム研究科博士前期課程 入学者受入方針(案)
 - 4-1 合否判定の誤りに対する調査検討委員会の結果報告について
 - 4-2 合否判定の誤りに関する調査検討報告書
 - 4-3 合否判定会議における合格者決定過程
 - 5 2012年度 早期支援システム実施結果
 - 6 平成25年度に実施する入学試験スケジュール
 - 7 平成25年度入試広報計画
 - 8 北九州市立大学 科学研究費助成事業(補助金・基金)の獲得状況(H25.5.2現在)
 - 9 平成25年度 学部・学科・学年別学生数
 - 10 平成24年度学部卒業生の就職決定率について
 - 11 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第1号 教員の採用について

* 資料1-1のとおり、文学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職する赤塚正幸教授の後任として、日本現代文学・日本現代文化担当教員1名の欠員補充について提案。

- 赤塚教授の担当分野は「日本現代文学」であるが、比較文化学科における日本文化領域の学問分野のバランスを考慮し、また、日本文化の発信ができる人材の養成という学科の教育目的達成のため、欠員補充にあたっては、担当分野を「日本現代文学・日本現代文化」に変更して行いたい。
- 教職課程については、各学科が責任を持っているということを認識し、教科に関する科目は専任教員が担当となるよう配慮をお願いしたい。特に「国語科教育法」及び「日本語音声学」については、重要な科目であるが、現在は非常勤講師が担当となっている。教職課程を維持するのであれば、その点も考慮してもらいたい。
- 今後の人事計画は、その点も視野に入れながら進めていく。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2(pp.1-2)のとおり、法学部からの申請に基づき、平成23年3月31日付けで割愛退職した中山布紗准教授の後任として、行政法学担当教員1名の欠員補充について提案。

- 中山准教授の担当分野は「民法学」であるが、公立大学の法学部としての行政法関係科目の重要性、また、所属教員の学問分野のバランス等を考慮し、欠員補充にあたっては担当分野を「行政法学」に変更して行いたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2 (pp. 3-4) のとおり、法学部からの申請に基づき、平成25年3月31日付けで定年退職した吉村弘教授の後任として、刑事訴訟法担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-2 (pp. 5-6) のとおり、法学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職する岡邦信教授の後任として、基礎法学担当教員1名の欠員補充について提案。

○ 岡教授の担当分野は「日本法制史」であるが、法律学を習得する上での「日本法制史」を含む「基礎法学」の重要性を考慮し、欠員補充にあたっては担当分野を「基礎法学」まで広げて行いたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-2 (pp. 7-8) のとおり、法学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職する古賀哲矢教授の後任として、都市政策論担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-3 (pp. 1-2) のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成25年3月31日付けで割愛退職した山本郁夫教授の後任として、機械工学（メカトロニクス、制御工学）担当教員1名の欠員補充について提案。

○ 山本教授の担当分野は機械工学のうち「メカトロニクス、機械振動学」であるが、機械工学における今後の科目の重要性を考慮し、欠員補充にあたっては担当分野を「機械工学（メカトロニクス、制御工学）」に変更して行いたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-3 (pp. 3-4) のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職する水野貞男教授の後任として、機械工学（生産システム）担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-4のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、平成24年9月30日付けで退職した内田若希准教授の後任として、コミュニティスポーツ担当教員1名の欠員補充について提案。

○ 内田准教授の担当分野は「障がい者スポーツ」であるが、過去2回の公募した際にも適任者がなく、人材の確保に苦慮したことから、今回の欠員補充にあたっては担当分野を「障がい者スポーツ」を含む「コミュニティスポーツ」まで広げて行いたい。

● 内田准教授が担当するはずであった基盤教育科目の「自己管理論」は、現在、非常勤講師が担当しているが、今回の欠員補充に際して、担当科目とはしないのか。

○ 欠員補充する職の担当科目に「自己管理論」を加えることとする。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

第2号 大学院学則の改正について

* 資料2-1、2-2のとおり、大学院学則の改正について提案。

- 第13回大学院教育改善委員会（平成25年5月21日開催）での承認を経て、提案するものである。社会システム研究科博士前期課程の新カリキュラムを平成26年4月から実施することとし、各専攻の教育目的の変更及び英語以外の教職課程の廃止について、大学院学則の一部改正を行うものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 社会システム研究科博士前期課程の入学受入方針について

* 資料3のとおり、社会システム研究科博士前期課程の入学受入方針について提案。

- 第2号議案と同様、第13回大学院教育改善委員会（平成25年5月21日開催）で承認された各専攻の入学受入方針について、提案するものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 合否判定の誤りに関する調査検討報告について

* 資料4-1～4-3のとおり、合否判定の誤りに関する調査検討報告について提案。

- 第181回教育研究審議会（平成25年4月9日開催）で承認された合否判定の誤りに関する調査検討委員会において、合否判定の誤りの発生原因及び再発防止策についてまとめたため、提案するものである。
- 今後は再発防止策を徹底し、二度とこのような誤りが生じないように努めてもらいたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 早期支援システムの実施報告について 資料5のとおり報告があった。
- ② 平成25年度に実施する入学試験実施日程及び平成26・27年度入試の主な変更点について、資料6のとおり報告があった。
- ③ 平成25年度入試広報計画について、資料7のとおり報告があった。
- ④ 科学研究費補助金獲得状況について、資料8のとおり報告があった。
- ⑤ 平成25年度学生数について、資料9のとおり報告があった。
- ⑥ 平成24年度学部卒業生の就職決定率について、資料10のとおり報告があった。
- ⑦ 教員の海外出張について、資料11のとおり報告があった。
- ⑧ 次回の審議会を6月11日（火）に開催する予定である旨、報告があった。

（教育研究審議会終了後、報告の④「科学研究費補助金獲得状況について」の資料の一部に誤りが判明したため、当該資料について、別紙のとおり変更を行うものである。）